

アクティブ サポート 京都

Active Support Kyoto

京都産業21のビジネス情報誌

05 May. 2004. No.008

<http://www.ki21.jp>



CONTENTS

財団新体制	1 ▶ 2
企業統計調査	2
人づくり塾開催結果	3 ▶ 4
小規模企業者等設備貸与制度	5 ▶ 6
起業家セミナー	7
ケータイ産業文化研究会	8
ビジネスショウ開催	9
専門家派遣事業	10
京の企業いきいき金融支援	11 ▶ 12
受発注コーナー	13
遊休設備コーナー	14
行事予定表	15

がんばる企業を支援します。

財団 京都産業21
法人

Kyoto Industrial Support Organization 21

財団の事務局新体制

当財団では、平成16年5月1日付けで人事異動を行い、新たな事務局体制で各事業を実施しておりますので、よろしくお願いいたします。

専務理事	高橋 善男	産業情報部	
常務理事	道前 正治	部長	徳田 秀明
理事	増田 清	IT推進グループ	
		グループ長	原田 章司
総務部		主任	吉田 忠嗣(兼務)
部長	岡嶋 修司	副主任	魚島 和晃
次長	駒 忠恭	人材開発グループ	
総務・経理グループ		グループ長	巽 健次(兼務)
グループ長(兼)	駒 忠恭	企業間交流推進グループ	
課長補佐	戸谷 晃	課長・グループ長	井上 正一
主任	安東 正浩	係長	巽 健次(兼務)
副主任	田村 浩二	主任	吉田 忠嗣(兼務)
企画広報グループ		新事業支援部	
課長・グループ長	田中 力	部長	村山 芳登
副主任	鈴木 陽介	審議役	泉 正嗣
産業振興部		新事業課	
部長	坂本 悦二	課長(兼)	泉 正嗣
担当部長	田平 照雄	主幹	松永 行利
審議役	延廣 正治	係長	小寺 祐人
マーケティング支援グループ		経営革新課	
課長・グループ長	石田 豊	課長	森西 栄治
主幹	吉岡 博(兼務)	係長	足立 貴雄
係長	鳴海 勢介(兼務)	主任	内田 真人
業務推進役	家田 清司	産学公連携推進課	
主事	土屋 幹代	課長	新田 稔
試作産業振興グループ		係長	坪内 貴子
グループ長(兼)	延廣 正治	海外ビジネスサポートセンター	
係長	鳴海 勢介(兼務)	業務推進役	河野 修一
商業支援グループ		北部支所	
グループ長	澤井 照明	所長	嶋田 勇
調査役	浅野 久廣	所長補佐	坂根 房昭
設備導入支援グループ		けいはんな支所	
グループ長(兼)	田平 照雄	所長	金田 修
主幹	吉岡 博(兼務)	経営支援相談員	
課長補佐	小嶋 秀和	中小企業特別相談員	
業務推進役	富田 修		江川 宗治
ビジネス・スーパーバイザー	櫛橋 義雄		退町 眞次
	高田通之助		前田 勝彦
	中山 孝司		
退任(3月31日付け)		退任(4月30日付け)	
北部支所		総務部	
所長	大江 肇	部長	林 寛
		産業振興部	
		部長	西村美野里
		新事業支援部	
		担当課長	鷺野 信雄
		課長補佐	林 靖
		北部支所	
		所長補佐	野村 泰好

総務部

- 総務・経理グループ
- 企画広報グループ

TEL : 075-315-9234 FAX : 075-314-4720

産業情報部

- 企業間交流推進グループ
- 人材開発グループ
- IT推進グループ

TEL : 075-315-8677 FAX : 075-314-4720

産業振興部

- マーケティング支援グループ

TEL : 075-315-8590 FAX : 075-315-9240

- 試作産業振興グループ

TEL : 075-315-8590 FAX : 075-315-9240

- 商業支援グループ

TEL : 075-315-9090 FAX : 075-315-9091

- 設備導入支援グループ

TEL : 075-315-8591 FAX : 075-315-9240

新事業支援部

- 新事業課
- 経営革新課

TEL : 075-315-8848 FAX : 075-323-5211

- 産学公連携推進課

TEL : 075-315-9425 FAX : 075-323-5211

海外ビジネスサポートセンター

TEL : 075-325-2075 FAX : 075-325-2075
E-mail : kyotoinf@jetro.go.jp

北部支所

〒627-0011
京都府京丹後市峰山町丹波139-1
(京都府織物・機械金属振興センター内)
TEL : 0772-69-3675 FAX : 0772-69-3880
E-mail : n-shisho@ki21.jp

けいはんな支所

〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台1-7
(けいはんなプラザ ラボ棟6階)
TEL : 0774-95-5028 FAX : 0774-98-2202
E-mail : n-shisho@ki21.jp



6月1日、事務所・企業統計調査、商業統計調査及びサービス業基本調査が全国一斉に行われます。全国の民営の事務所がすべて対象になります。ご協力をお願いします。



総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/>



経済産業省 <http://www.meti.go.jp/>



総務省・経済産業省
都道府県・市区町村

2004年度「人づくり塾」開講!!

～新入社員研修を実施 70名が受講～

財団法人京都産業21では、かねてから要望のあった新入社員に対する研修を3期(第1期:平成16年3月25～26日、第2期:平成16年4月8～9日、第3期:平成16年4月16～17日)に分けて、京都リサーチパーク内の京都府産業プラザで実施しました。

－研修のねらい－

- ①社会人としての心構えを理解し、組織の一員として自覚する。
- ②仕事の基本的な知識と進め方を理解する。
- ③社会人として、職場のマナーを身につける。
- ④企業人として、文書の書き方を習得する。
- ⑤人との交流を深め、ヒューマンネットワークの大切さを学ぶ。



講義は株式会社松下電工創研の森本眞佐美氏と徳田章夫氏が担当しました。

講義の前に「企業が求める人材」と題し、企業トップの方々からご講演を頂きました。

第1期:デジタルレボリューション(有)

代表取締役 田村 徹氏

第2期:(株)最上インクス

代表取締役 鈴木三朗氏

第3期:(株)大黒商会

代表取締役社長 井上雅文氏

7月には、よりきめの細かいフォロー研修が行われる予定です。

今回、当研修の第1期生であるデジタルレボリューション(有)の新入社員3名(大谷茉莉、神野千恵子、安丸暁子)が、第2期新入社員研修を取材しました。

<本稿P3-P4を全て担当。>

新入社員研修カリキュラム

時間	1日目	2日目
10:00	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション ・研修のねらい (自己紹介) ◆講演:「企業が求める人材」 ◆企業を取り巻く環境の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報ネットワークの活用 ・情報は自分でとるもの ◆職場のマナー・エチケット ・服装と身だしなみ ・職場で大切な言葉 ・スマートな敬語 ・敬語の基本的な使い方 演習
11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・デフレーション ・企業の海外移転 ◆企業と社会の関わり合い 	
12:00	昼食	昼食
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ◆企業活動 ・企業の社会的責任 ・組織とは ・組織の一員としての自覚、責任 	<ul style="list-style-type: none"> ◆応対と接遇 ・電話の受け方、かけ方 ・来客の応対 ・電話対応の演習
14:00	<ul style="list-style-type: none"> ◆ビジネスの基本知識 ・仕事に対する基本的な心構え ・仕事の進め方の基本 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ビジネス文書の書き方 ・ビジネス文書の作り方 ・社内文書の基本 ・社外文書の基本 ・表記上の注意点 ・ビジネス文書の書き方演習
15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究 VTR「指示の受け方」 ・私たちの役割 ・担当業務を理解する ・業務を完遂するために必要なスキル ・ビジネス意識を持とう 原価意識、改善意識 	
16:00		◆まとめ
17:00	●終了(予定17:00)	●終了(予定17:00)
19:00	<ul style="list-style-type: none"> <交流会> ●名刺交換ゲーム ●自己PRプレゼン 軽食をご用意します。 ●終了(予定19:00) 	

第2期は、11企業から、39名が受講し、開講式に引き続き、株式会社最上インクスの鈴木社長の講演など、自社以外の代表者の考え方を聴くという貴重な体験をしました。

講義は、社会人としてのビジネスの基本知識やマナー・エチケットを中心に、講師の実体験を織り交ぜながら、熱心に行われました。

また、ビデオを見てグループごとに話し合ったり、携帯電話を小道具としての電話対応の練習など、とても和気あいあいとした楽しい雰囲気の中で、真剣に実習に取り組む姿も見られました。



お昼休みには、天気良かったこともあり、中庭の桜を観ながら昼食をとったり談笑するなどして、しっかり気分転換をして午後からの講義に取り組んでいました。

さらに、各期とも1日目の研修が終了後には交流会が催され、名刺交換の実践などを通して、他社との交流がもたれました。初めての名刺交換では、スタッフのお手本の後、慣れないながらも上手に受け渡す方法を見つけようと試行錯誤する場面もありました。

さまざまな業種の企業からの参加により、自社の仕事の中では知り合うことのなかった人々と話すことができ良かったという声が多く聞かれました。

取材にご協力いただきました皆様、どうもありがとうございました。

<デジタルレボリューション(有)
取材チーム>



【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 人づくり塾 事務局
E-mail: inoue@ki21.jp

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都府産業プラザ内
TEL: 075-315-8677 FAX: 075-314-4720

京都産業21が設備投資を応援します！

割賦損料率・リース料率、下げました！

本制度は、小規模企業者等の方が経営基盤強化に必要な設備を導入しようとする時、これから創業しようとする方が必要な設備を導入しようとする時、希望される設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ低利で割賦販売またはリースする制度です。

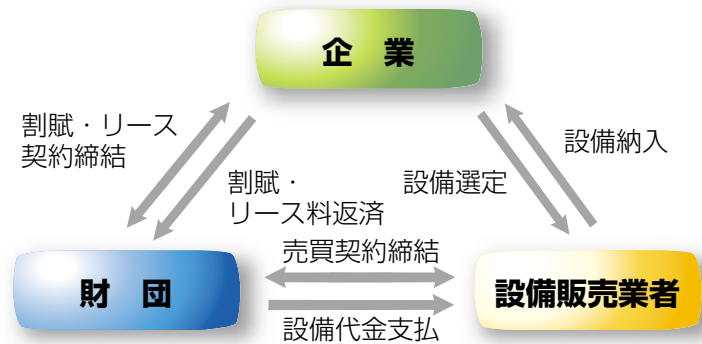
割賦販売とリース、どちらにしますか？

固定金利です（割賦販売）

償還期間が最長7年と長い

金融機関借入枠外で利用できます

信用保証協会の保証枠外で利用できます



区分	割賦販売	リース
対象企業	原則、従業員20人以下（ただし、商業・サービス業等は、5名以下）の企業ですが、最大50名以下の方も利用可能です。	
対象設備	機械設備等（土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外）	
対象設備の金額	実績が1年以上あれば100万円～6,000万円まで利用可能です。	
割賦期間及びリース期間	7年以内（償還期間） （ただし、法定耐用年数以内）	3～7年 （法定耐用年数に応じて）
割賦損料率及び月額リース料率	年2.50% （設備価格の10%の保証金が契約時に必要です）	3年2.990% 4年2.296% 5年1.868% 6年1.592% 7年1.390%
連帯保証人	一定の要件を満たす連帯保証人が必要です。	

お客様の声

公的機関が実施しているので安心

A社：貸与制度がどうのこうのという前に財団法人京都産業21は、まずもって気軽に相談できるという点です。多くの企業へ訪問しておられるので中小企業の実態を知っておられるため、相談に対し、親身にかつ前向きに対応していただけるのがありがたいです。また、初めて貸与制度を利用させていただいてから24年が経ちますが、いつ事務所を訪ねても当時の担当者（財団の役職員）がおられるので安心して相談に行けますし、一から説明しなくても済むということもあります。

金融機関の借入枠外で利用できます

B社：資金調達方法として、民間及び政府系金融機関や民間リース会社、財団の貸与制度（割賦販売・リース）等がありますが、それぞれにおいて自社なりの戦略をもって利用させていただいております。今現在、経営が順調であっても数年先、数ヶ月先はどうか判らない時代です。ただ単にその時々の子や料率の低い方を利用するといった考えは我が社にはありません。

信用保証協会の保証枠外で利用できます

C社：当社の設備の80%は、貸与制度で導入させていただいたものです。金融機関の借入限度額や保証協会の保証限度額に直接的に影響しないという部分（メリット）もありますので、設備投資は財団（貸与制度）でと決めています。現在では貸与損料が低いとはいえませんが、リスクヘッジ等経営全体で考えた場合、あまり気にする必要はないと考えています。設備投資は財団で、運転資金等は金融機関で。財団も金融機関も信頼関係を築き上げてきた当社の大切なパートナーだと思っています。

割賦販売は固定金利です

D社：金融機関等の別枠で設備投資ができるのがいいですね。固定金利であるとか貸与システムがきっちりしているというのも安心（信頼）でき、私の性分に合っているというもあります。先行投資として3,000万円弱の高価な機械を導入した時のことですが、今すぐ利益を産む機械でなかったので低利で長期の貸与制度は非常に助かりました。また、工場を増築して借入金が増加した時の設備投資の際も非常に助かりました。

応援しているのは設備投資だけではありません

E社：金融機関からの信用度が低かった創業間もない頃やバブル崩壊後の厳しい状況だった時は、低い損料率で設備導入ができ、非常に助かりました。貸与制度の一番いいところは、現状があまり良くなくても将来性を重視していただけることです。

また、貸与制度だけでなく財団法人京都産業21がやっておられる講習会や法律相談、展示会等も活用させていただき、特に展示会につきましては、平成10年に財団の勧めで初めて出展しましたが、それ以降、毎年、テクノフェアや京都ビジネスパートナー交流会等に出展させていただいております。毎回、1社程度と取引が成立しておりますし、何より営業担当者の勉強になるのがいいですね。

【お申し込み・
お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 産業振興部 設備導入支援グループ

TEL:075-315-8591 FAX:075-315-9240
E-mail:setubi@ki21.jp



先端のコンポーネンツで、
幅広いソーシャルニーズに応えるオムロン。

たとえば、携帯電話用の液晶バックライト。光を均一に拡散させる独自の技術により、飛躍的に明るく色ムラのないカラーディスプレイ表示を実現しました。この技術は、高輝度と高効率求められるプロジェクタやカーライトなどにも応用され、活躍の場を広げています。高度なセンシング&コントロール技術から生まれるオムロンの先端のエレクトロニクス・コンポーネンツ。携帯電話から家電、自動車まで幅広い製品の高機能化をサポートし、人々のコミュニケーションや身近な生活を鮮やかに進化させています。



液晶用バックライト

従来方式に比べ約3倍の高効率を持つ周期的な導光板により、高輝度と低消費電力を同時に実現。また、単一光源方式なので色ムラのない画像が得られます。

液晶用バックライトの詳細情報: www.omron-backlight.com/

OMRON

Sensing tomorrow™

オムロン株式会社 〒600-8530 京都市下京区塩小路通堀川東入
広告についてのお問い合わせ 広報部 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 TEL: 03-3436-7202 FAX: 03-3436-7029

www.omron.co.jp

あなたも起業しませんか

財団法人京都産業21では、毎年、起業をめざしている方や創業間もない方を対象に、創業者の体験談やビジネスプランの作成方法、税務・財務、資金計画、マーケティング等事業の立ち上げや経営に必要な基礎知識と実践力を身につけていただく起業家セミナーを開催しています。

受講者の声 **地域を元気にする
マネジメント事業を展開**



(株) 京都ビジネスコーチング
代表取締役社長: 廣瀬 稔氏

住 所 ● 亀岡市余部町宝久保28番1号
TEL ● 0771-22-8507
FAX ● 0771-22-7060

廣瀬社長は大手電子部品メーカーに在職中、ISO9001の管理責任者を5年、ISO14001の管理責任者を3年など、工場管理・品質管理の仕事に従事しておられました。今年2月、それらの経験を生かし、中小企業にISO取得を指導するビジネスを核とする(株) 京都ビジネスコーチングを創業されました。

廣瀬社長は、(財) 京都産業21の「平成15年度起業家セミナー」

を受講されました。このセミナーでは、経験豊富な講師の方々
の体系的で実務に即した講義が大いに参考になったとのこと
です。

またセミナー受講が縁で、同じく亀岡市在住の起業家3人と
知り合われました。学生、主婦など世代も業種も異なりますが、
地元経済に新風を吹き込みたいと連携をはかり、交流を続けて
おられます。3月に行われた会社創立記念式典では、3人の事業
PRも同時に行われました。来賓として出席された亀岡商工会
議所会頭、亀岡市会議員、地元企業の社長など大勢の方から地
域活性化の期待が寄せられました。

廣瀬社長の事業構想は大きく、新しいアイデアが次々と飛び
出しています。マーケティング、ベンチャービジネス、NPO、生
涯学習、環境問題、高齢者支援など、幅広い展開を視野に構想さ
れています。その中でも特に、学校の活性化と人材育成のお手
伝いをしたいのだそうです。聴講生として京都学園大学で一年
間学ばれた後も、経営関係の講義を受講されています。今後も
大学での勉強を継続し、学校経営・人材教育のサポートビジネス
を目指されています。

地元経済の活性化のため、「社会」「元気」「コミュニティ」を
キーワードに廣瀬社長は元気に飛び回っておられます。

【お問い合わせ先】 (財) 京都産業21 新事業支援部 新事業課

TEL:075-315-8848 FAX:075-323-5211
E-mail:shinjigyo@ki21.jp

ベンチャー企業支援室のご案内

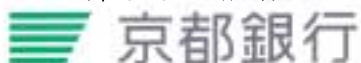
業務内容

- ベンチャーファンドによる株式投資やご融資を通じて、事業資金のサポートを行います。
- 公的機関・大学等との連携により、各種支援施策の有効活用や技術情報の収集などを図り、ベンチャー企業の成長をバックアップしていきます。
- 色々な分野の専門家や専門機関を活用し、経営相談やM&Aなど幅広いニーズにお応えします。

資金調達サポート



飾らない銀行



お問い合わせは

法人金融部

ベンチャー企業支援室 TEL.075(361)8600
京銀KRPベンチャーデスク TEL.075(315)9076